2007年３月定例会の議案・意見書・陳情の採決結果

○は賛成
×は反対
△は退席

党派	議員名	予算・条例など										意見書						陳情								
		06年度一般会計補正予算（第6回）	07年度一般会計予算	07年度一般会計予算の組み替え	乳幼児の医療費無料化を就学前まで拡大	高齢者に入院見舞金を支給	私立幼稚園の保護者補助金を増額	一人親家庭は小学6年まで医療費を無料	芸術文化振興条例	食育推進会議設置条例	ごみ処理施設市民検討委員会の設置条例	柳沢厚生労働大臣は辞任を	性同一性障害の差別改善を	国家統制に繋がる教育委員会見直しに反対	労働時間適用除外を拡大する法案は撤回を	最低賃金の引き上げと全国一律制の導入を	閣僚の人権軽視発言に安倍内閣は猛省を	ココバス東町・中町循環の改善を	ジャノメ跡地への焼却場建設に反対	焼却施設市民検討委員会を市民参加の場に	焼却場市民検討委員会の会議公開を	焼却場市民検討委員会の委員定数拡大を	パブリックコメント回答に標準処理期間を	改札から遠い方が地価が高い理由の説明を	再開発は駅前ロータリーを最優先で整備	高架開通前に高架上を歩くイベント実施を
共産党	森戸よう子	×	×	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	板倉　真也	×	×	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	関根ゆうじ	×	×	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	水上ひろし	×	×	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
みどりの風	青木ひかる	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○
	野見山修吉	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○
	渡辺　大三	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小山　美香	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	○
	漢人　明子	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
自民クラブ	露口　哲治	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	伊藤　隆文	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	中根　三枝	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	高木　真人	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	遠藤百合子	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
公明党	鈴木　洋子	（議長のため「可否同数」のときだけ採決に加わる）																								
	和田　茂雄	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	△	○	○	△	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	宮下　誠	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	△	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	紀　由紀子	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	△	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
民主党	小川　和彦	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	△	○
	斎藤　康夫	○	○	×	○	×	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○
	宮崎　晴光	○	○	×	○	×	○	△	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○
	村山　秀喜	○	○	×	○	×	○	△	○	○	×	○	△	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	△	○
改革	篠原ひろし	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	△	○	×	○	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	五十嵐京子	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	△	○	×	○	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	採決の結果	可決	可決	否決	可決	否決	可決	否決	可決	可決	否決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	採択	不採択	不採択	採択	不採択	採択	不採択	不採択	趣旨

【解説】２月21日から始まった３月定例市議会は会期を１日延長して、３月21日午前１時40分に終了しました。日本共産党市議団は３月定例市議会に条例３件、意見書３件を提案（共同提案含む）。また、2007年度一般会計予算に対する組替え案を提出しました。そのうち、今回で３度目の提出となる「私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例」は、厚生文教委員会で反対した自民・公明が本会議では賛成に回り、経済的援助の充実を求めた議員提案の条例としては小金井市議会初となる全会一致での可決となりました。一方、乳幼児の医療費無料化を就学前まで拡大する条例は、昨年６月議会に日本共産党市議団が条例を準備し、一般質問で市長に実現を求めたもの。昨年６月議会での市長の答弁は「段階的に引き上げていきたい」というものでしたが、隣接する国分寺市でも今年10月から就学前までの無料化を実施するなか、市長自ら、今年10月実施の条例を提案してきたものです。

今議会に市長は「芸術文化振興条例」を提出しました。条例策定にあたり小金井市は市民参加の策定委員会を設置。昨年11月に策定委員会から条例案の答申が示されました。しかし市長は、答申内容と大きく異なる条例を作成。そのため市民から様々な意見が出されました。日本共産党市議団は、答申内容と大きくかけ離れたうえに芸術文化の振興に対する市の責務が努力規定に後退させられていることから、採決では退席しました。

日本共産党市議団が提出した2007年度一般会計予算の組み替え案は、市財政に大きな負担を負わせる武蔵小金井駅南口再開発事業と、市財政への大きな負担に加え、地権者合意すらも得ていない東小金井駅北口区画整理事業の経費を削除し、2007年度に対象者が削減される高齢者記念品支給事業の現状維持や配食サービス利用者負担軽減の拡充、障害者地域生活支援事業のサービス負担を無料にすること、学校図書館補助員配置の充実、市立小中学校図書費の増額など、計17事業を新設・拡充することを求めたものです。予算に対する修正案や組替え案を提案し、お金の使い方の見直しを求める取り組みは、議員や政党が市民生活をどのように改善し充実させようとしているのかを知る、一番のバロメーターとなります。